

令和3年度施政方針

市政運営の基本方針

■安全安心な日常生活を送ることができる富士見市

新型コロナウイルス感染症への対策について、必要な支援を速やかに提供するほか、自然災害に対する備えを充実させ、安全安心なまちづくりを推進します。

■誰もがイキイキと暮らすことのできる富士見市

子育て支援の充実とともに、子どもたちが夢にチャレンジできる環境づくりと能力を最大限に伸ばす教育を実践し、子どもたちの笑顔があふれるまちを創ります。

介護予防など健康長寿への取組みのほか、障がいの有無や国籍、性別の違いなどにかかわらず、誰もが充実した日々を過ごすことができる共生社会の実現への取組みを推進します。

■まちの魅力を高め、活気と賑わいのある富士見市

活気と賑わいのあるまちづくりを進めるため、産業振興に関する取組みを強化するほか、シティゾーンなどの新たな活力を生み出す拠点や、びん沼自然公園、湧水の再生・活用など、自然を身近に感じられる環境の創出を図ります。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業に取り組みとともに、本事業の成果を末永く享受できるレガシーの創出を図ります。



町会の自主防犯組織による防犯パトロール

明るい未来を創るために

政策企画課 ☎230

星野光弘市長は、2月9日開会の令和3年第1回富士見市議会定例会で、令和3年度の市政運営の基本方針や施策の概要などを示した施政方針を表明しました。

方針の中で市長は、令和3年度から始まる第6次基本構想における20年後の理想の未来である「充実した日々」の実現のため、第1期基本計画を着実に推進するとともに、新型コロナウイルス感染症への対策として今後も切れ目のない支援を行い、市の明るい未来を創っていく考えを示しました。その概要をお知らせします。



星野 光弘 市長

令和3年度の主要施策

1 子ども・子育て支援、子ども・若者支援、学校教育

- 新生児の聴覚検査費用の助成により、聴覚障がいのある早期発見に取組み、コミュニケーション能力の形成や言語の発育を支援します。
- オンラインで妊娠・出産・育児の相談ができる環境を整えます。
- こばと保育園の園舎建替え費用の一部を補助し、保育環境の向上を図ります。
- 国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒への1人1台学習用PCなどの端末を活用したICT教育を推進します。
- つるせ台小学校の校庭芝生化整備工事および小中学校6校で体育館空調設備を設置するための設計を実施します。



学校におけるICT教育

2 地域福祉、高齢者福祉、障がい福祉、健康づくり

- 障がいのある方の在宅生活の支援として、日常生活に必要な用具の給付品目を拡大します。
- 成年後見制度の中核機関を富士見市社会福祉協議会に設置し、認知症や知的障がいのある方の成年後見制度の利用を促進します。
- フレイルチェック事業を拡大し、ふじみパワーアップ体操や健康マインレジ事業などにつなげ、介護予防と健康づくりを推進します。
- 喫煙者の健康と受動喫煙防止のため、子どもや妊婦と同居する方や妊婦本人を対象に、禁煙外来診療費の助成を開始します。
- がんの早期発見・治療のため、個別乳がん検診対象者の拡大や集団乳がん検診受診料の負担軽減を実施します。



フレイルチェック

3 スポーツ、文化芸術・文化財、生涯学習、多文化共生・国際交流

- セルビア共和国の事前キャンプ地としての環境を整備するとともに、選手団との交流を通じ、国際交流とスポーツに親しむ機会をつくります。また、オリンピック聖火リレーやコミュニティライブサイトの開設など、スポーツの祭典を盛り上げます。
- 文化振興基金を活用し、市民の文化芸術活動への助成を開始します。
- 舞台芸術鑑賞会や地域コンサートの開催など、文化芸術に触れる機会の充実を図ります。



セルビア共和国出身のアナ・ロゴ氏による読み聞かせ

4 地域コミュニティ、防犯・交通安全

- 協働提案事業「みずほ台の日」を市民協働で開催し、駅周辺の地域コミュニティを醸成します。
- 市制施行50周年記念事業は、市民の皆さんからいただいた提案などを具体化し、本市の半世紀の歩みを振り返るとともに、未来に向けて、市全体が盛り上がる記念事業の準備を行います。
- 地域の防犯カメラの設置補助や自主防犯組織への支援など、犯罪を未然に防ぐ環境を整備します。

5 土地利用、道路、環境、公園・緑、住環境

- シティゾーンは、産業団地の整備に向け、県企業局との連携や周辺交通環境の整備を行います。
- 水谷柳瀬川ゾーンは、地区内の富士見橋通線や水谷調節池周辺の整備を推進し、新たな産業誘致や雇用創出に向け、取り組めます。
- びん沼自然公園は、多世代が楽しめる交流拠点として整備します。
- 湧水と斜面林などの豊かな自然環境を活用した、水と緑のネットワークの整備に取り組みます。

6 商工、農業



豊富な湧水が流れる栗谷津公園

- 次世代自動車の購入や再生可能エネルギー機器の設置への補助を継続するほか、カーボンニュートラル、脱炭素社会の観点も踏まえた取組みを行います。
- 空家の発生を抑制し、利活用を促進するため、移住・定住促進補助事業を創設します。

8 シティプロモーション、総合行政



令和元年開催の富士見市総合防災訓練

- 公共施設の総合管理方針や個別施設計画を踏まえ、計画的に施設の再編や長寿命化に取り組みます。
- 行政課題に改善意識を持ち、取り組む人材の育成を行います。
- 職員が一丸となり、シティプロモーションを推進し、新たな賑わいの創出を図ります。

7 治水、危機管理

- 前谷排水機場の機能強化や浸水の危険性のある地域を中心とした浸水対策を継続して実施します。
- 自主防災組織における防災リーダーなどの人材育成に取り組み、地域防災力を高めます。
- 入間東部地区合同防災訓練は、本市の特徴的な災害である浸水被害を想定した訓練を行います。

施政方針の全文は、市ホームページ、市役所1階市政情報コーナー、各図書館でご覧になれます。

